『備品貸出しできます』

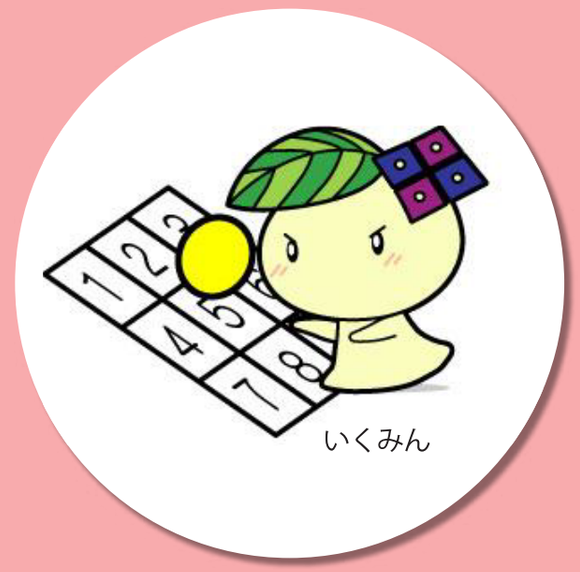
スポーツ・レクリエーション活動を通じて、地域コミュニティー事業を開催される各種団体にボールやコートを貸出しいたします。(貸出し備品の詳細は下記に記載したホームページをご覧下さい。)
また、出張講習会も行っておりますので、気軽にお問い合わせ下さい。

TEL.06-6716-3020

■お問い合わせ

大阪市スポーツ推進委員生野区協議会 (生野区民センター内)
TEL.06-6716-3020 FAX.06-6716-1797
★詳しくはホームページへ 大阪市スポーツ推進委員生野区協議会 検索

スリーアイズ
公式ルールブック



大阪市スポーツ推進委員生野区協議会

スリーアイズは平成９年に開催された「なみはや国体」「ふれ愛ビック大阪」を記念して、「広報いくの」でアイデアを募集し、生野区体育指導委員会協議会（現：大阪市スポーツ推進委員生野区協議会）が考案した、生野区発祥のニュースポーツです。

10 個のボールとわずかなスペースがあれば
1. いつでも、どこでも
2. お年寄りから幼児まで、3 世代 4 世代が一緒に
3. 車いすでも参加できる
バリアフリーのスポーツです。

目　次

P 2~8　…公式ルール
P 9　…コート図
P 10　…得点パターン図例
P 11~13　…審判の手順

公式ルール

1 競技場所

① 屋外　平坦なグラウンド
② 屋内　体育館・ホールなど
③ コート図　P9 参照

2 使用用具

① スリーアイズ専用コート（キャンバス製グリーン色）

② スリーアイズ専用ゴム製ボール（白色・黄色各５個）
③ 投球順札、１～５を２セット

3 競技種目

シングルス、ダブルス、チーム戦
（ただしチーム戦は１チーム５名、登録は８名までとする）

4 競技方法

① チームリーダーはメンバー表を審判に提出する。
② トスにより先攻･後攻及びボールの色を決め、以後は交互に投球エリアより、ボールを前方の９個の桝目に停止させる。
その際、投球方法は自由とし身体のどの部分を使ってもよい。

▲あいさつ

▲トス（ジャンケン）

▲プレイボール（試合開始）

▲副審の投球コール

▲投球

▲投球されたボールの判定

③ １個の桝目に両チームのボールが停止した場合はその桝目を共用できる。
④ 既に桝目に停止しているボールに、以降のボールが接触して移動したり、桝目から弾き出されても、あるがままとする。
⑤ 桝目の境上（オンライン）のボールについては、そのチームが有利になる桝目に入ったものとする。
⑥ ボールが桝目内に停止しなかった場合は、アウトボールとし、セット終了まで放置する。セット途中で、投球されたボールの接触により桝目に入った場合は、インボールになる。
⑦ ダブルス・チーム戦は同一選手の連続投球は認めない。
⑧ 投球は、副審のコール後に、速やかに投球する。（８秒以内）
⑨ 作戦タイムは、１セットに１回ずつ取ることができる。（１５秒以内）
そのときは、チームリーダーが副審に要求する。
⑩ 各セット前にメンバーチェンジが出来る。

▲得点の確認

▲ボールの回収

5 得点と勝敗

① 両チームが５個ずつのボールを投げ終えて、ボールが入っている桝目が一列に並べば、得点となる。
(獲得点数は、得点パターン図　P10 参照)

② １ゲームは、３セット又は５セットマッチとし、得点の多いチームの勝利とする。但し、２セット又は４セット終了時に６点以上差がある場合は、コールドゲームとする。

③ トーナメント戦で試合終了時に、同点の場合は、両チーム同数の選手によるフリースローをおこない、５番の桝目に多く入ったチームの勝利とする。なお、投球されたボールは、１投毎に取り除く。

④ ③で勝敗が決しない場合は、Ｖスローをおこない。５番の桝目に先に入れたチームの勝利とする。

▲得点の確認

▲ボールの回収

▲得点発表

▲試合後の握手と礼

6 審判

① 審判員は、主審・副審の２名とする。

② 主審は、投球されたボールのイン・アウト（オンライン）及び得点の判定をおこなう。

③ 副審は、投球の許可をおこない、また、スコアシートに得点を記入する。

④ 審判の位置は、主審は桝目付近に立つ。副審は投球ライン脇に立つ。

⑤ 主審が、イン・アウト（オンライン）の判定をする場合は、

ⅰ） インの時
片手で対象となるボールを指し、「○○ボール○番にイン」とコールする。

ⅱ） オンラインの時
片手で対象となるボールを指し、「○○ボール○番○番にオンライン」とコールする

ⅲ） アウトの時
片手を真直ぐ上へ伸ばして、「○○ボール　アウトボール」とコールする。

ⅳ） 投球されたボールの接触により、停止しているボールが移動した場合は、先ず、投球されたボールの、イン・アウトを判定する。
次に移動したボールの判定をする。
a) イン⇒イン　「○番の○○ボール○番に移動」
c) アウト⇒イン　「アウトボールの○○ボール○番にイン」

7 反則

ⅰ） 投球者が投球時に、投球ラインを踏み越した場合。

ⅱ） 主審の各セット終了宣言前の投球ラインを越えての進入。

ⅲ） 投球エリア内へは、投球者以外の選手は入ってはならない。

ⅳ） 投球オーダーの間違い

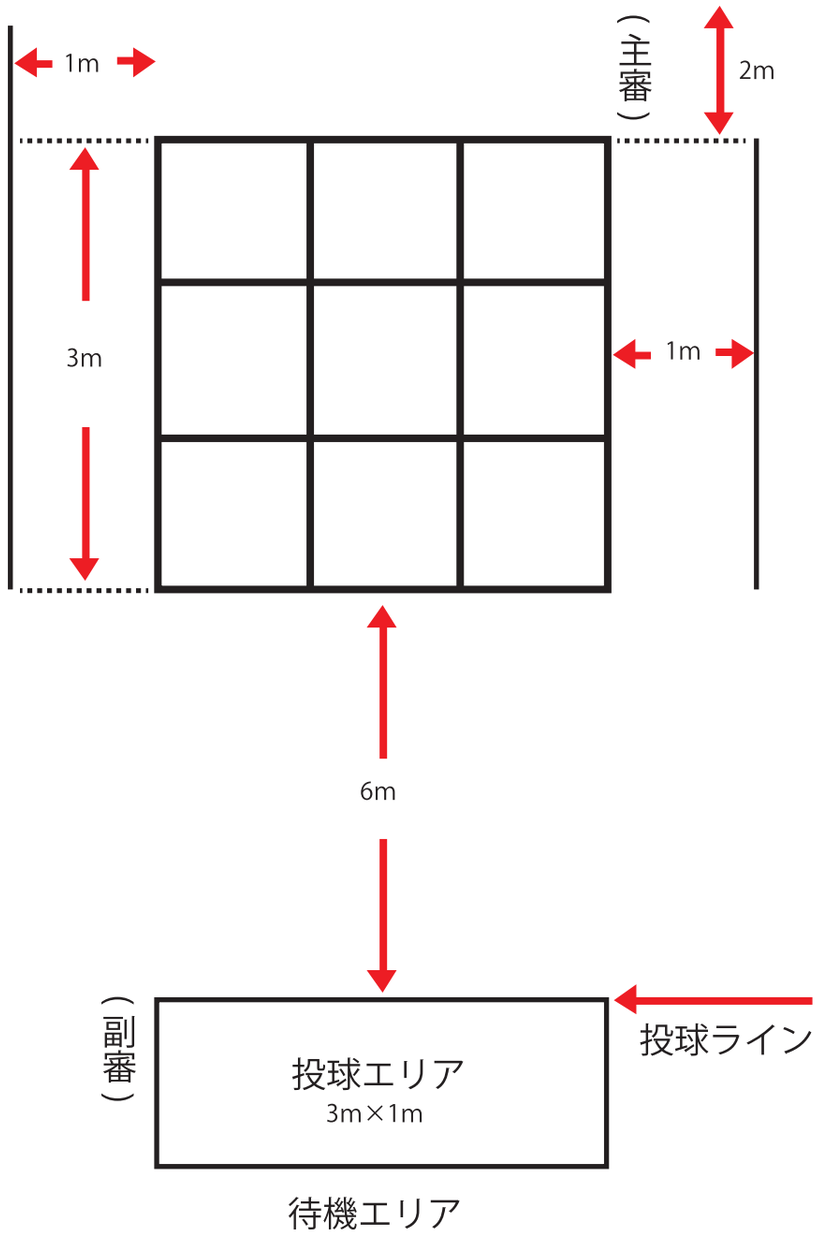
ⅴ） 吹笛前に投球してはならない。

ⅵ） ゲームでの遅滞行為（副審の吹笛後、８秒以内に投球完了しない時）

ⅶ） 投球者以外のボールの保持は認めない。

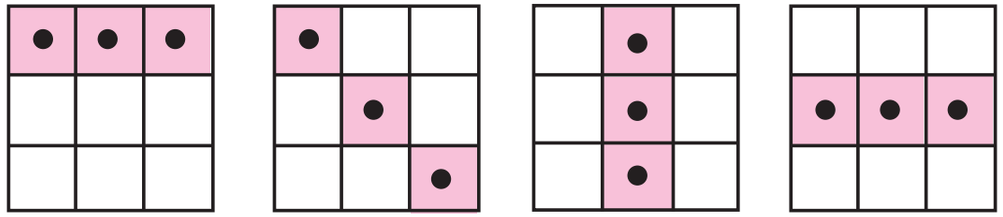
ⅷ） ⅰ～ⅴの反則行為があった場合は、主審・副審どちらかが、短く２回吹笛し、反則内容を告げ、無効球とする。但し、最初遅滞行為については両チームに対して注意を与える。２回目以降は、無効球とする。

コート図

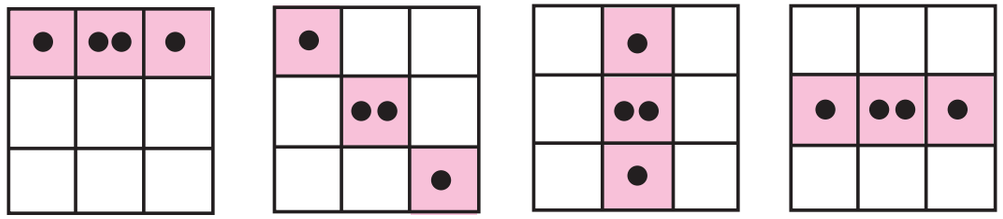


得点パターン図例

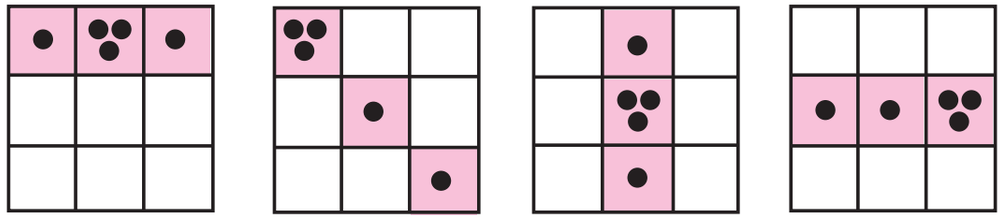
1点（1列完成）



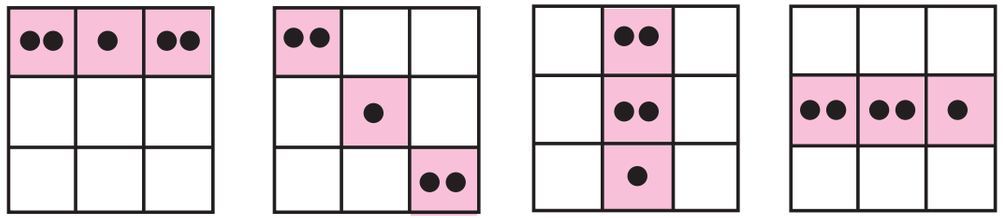
2点（1列完成　但し、1桝に2個のボールが入った場合）



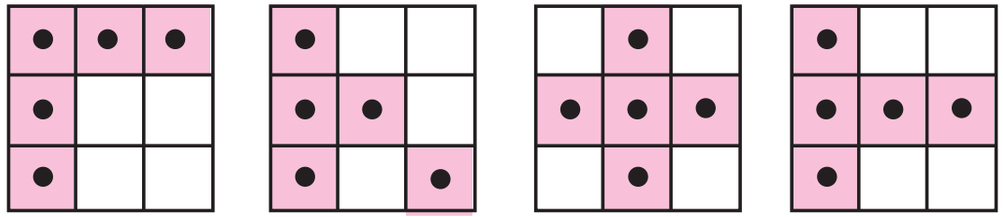
3点（1列完成　但し、1桝に3個のボールが入った場合）



4点（1列完成　但し、2桝に2個のボールが入った場合）



5点（パーフェクト）　＜2列完成した場合＞



審判の手順

1 挨拶・トス

① 主審・副審は、投球ラインに平行に並び、主審が両チームに縦１列に整列させる。
② 主審は整列後、「○○チーム対 ×× チームの対戦を始めます」と宣言する。
③ 両チームの選手に、握手をさせる。
④ 両チームリーダーにトスをさせ、先ず勝者に先攻・後攻、またはボールの色を決めさせる。
⑤ トスの敗者には、勝者が選択し残した先攻・後攻、またはボールの色を選択させる。
⑥ 副審は、④、⑤の結果をスコアシートに記入する。
⑦ 主審・副審は、所定の位置につく。

2 ゲーム開始

① 主審が、吹笛（すいてき）（長笛ピー）し「プレーボール」と、宣言する。
② 副審が、先攻チームに向け、「第１セット開始△△（白又は黄色）１番」と発声してから、吹笛（短笛ピッ）し、投球をさせる。
③ 主審は、投球されたボールが停止した後に、速やかにイン・アウト（オンライン）の判定をしてコールをおこなう。
（公式ルール６－⑤を参照）
④ 次に後攻チームに投球をさせ、以降、交互に両チームの５番まで投球させる。
⑤ 副審は、主審のセット最終ボールのイン・アウトをコールした後、セット終了を告げる吹笛（短笛＋長笛ピッピー）をする。

⑥ 主審は、副審の吹笛後、速やかに「（白又は黄色）何点、（黄色又は白）何点」と、得点をコールした後、吹笛（長笛ピー）し、「第○セット終了」と宣言する。
⑦ 副審は、スコアシートに、得点結果を記入する。
⑧ 第２セットは、先攻・後攻を入れ換えて、②～⑦の手順でゲームを進行する。
⑨ 第３セットは、第１セットと同じく先攻・後攻で、ゲームを進行する。以下、第４セット・第５セットも準ずる。
⑩ 主審は、最終セットの最終投球後に、得点コールと吹笛（長笛ピー）を終えた後は、「ゲームセット」と宣言する。（同点の場合は、第３セット又は第５セット終了とコールする。）
⑪ 反則行為があった場合は、主審・副審どちらかが、短く２回吹笛（短笛＋短笛ピッピッ）し、反則内容を告げ、無効球とする。
⑫ 反則の中でも、遅滞行為（副審の吹笛後、８秒以内に投球完了しない時）については、最初の遅滞行為については両チームに対して注意を与える。２回目以降は、無効球とする。
⑬ 作戦タイムを要求された時に副審は、手をＴ型にして、吹笛（長笛ピー）をして主審にアピールする。

3 フリースロー及びＶスロー

① 両チームリーダーにトスをさせ、勝者に先攻・後攻を選択させる。
② 主審・副審は所定の位置につく。
③ 副審は、先攻チームに「フリースロー開始（白又は黄色）１番」と発声してから、吹笛（短笛ピッ）し、投球をさせる。
④ 主審は、投球されたボールが停止した後に、イン・アウトの判定をしてコールをおこなう。なお、投球されたボールは、１球毎に取り除く。
（インボールはエンドに、アウトボールはサイドにボールを置く。）
⑤ 副審は次に、後攻チームへ投球をさせ、以降、交互に投球させる。

⑥　副審は、主審が最終ボールのイン・アウトのコールの後、フリースロー終了を告げる吹笛（短笛 + 長笛ピッピー）をする。

⑦　主審は、副審の吹笛後、速やかに「白○球・黄色◎球」とコールした後、吹笛（長笛ピ――）し、「ゲームセット」と宣言する。但し同点の場合は、「フリースロー終了」と、宣言する。

⑧　勝敗が決した場合は、副審がスコアシートに結果を記入する。但し、同点の場合は、Ｖスローを行う。

⑨　Ｖスローを行う時は、①～②の後、副審が、先攻チームに「Ｖスロー開始（白又は黄色）１番」と発声してから、吹笛（短笛ピッ）し、投球を促す。

⑩　主審は、投球されたボールが停止した後に、イン・アウトの判定をしてコールを行う。なお、投球されたボールは、１球毎に取り除く。

⑪　副審は次に、後攻チームへ投球をさせ、以降、交互に投球させる。

⑫　Ｖスローで勝敗が決した場合、主審は速やかに吹笛（長笛ピ――）し、「ゲームセット」と宣言する。但し、勝敗が決しない場合、副審が速やかに「ボール回収」とコールする。

⑬　副審は、スコアシートに、結果を記入する。

⑭　Ｖスローで勝敗が決しない場合、２回目以降は、先攻・後攻を交互に入れ替える。

4　ゲーム終了

①　主審・副審は、投球ラインに平行に並び、主審が両チームに縦１列に整列させる。

②　副審は、スコアシートを確認し、主審に結果を知らせる。

③　主審は、「◎点対●点で、○○チームの勝利です。」とコールする。
（主審は、「フリースロー又はＶスローの結果、○○チームの勝利です。」とコールする。）

④　主審は，両チームの選手に握手をさせる。

⑤　④の後、両チームリーダー及び審判員は、スコアシートにサインをして、全てが終了する。

Memo